

『年齢』 作：ポチ子

『年齢』 作：ポチ子

死んだ人が自分と同じ年齢だった。

事故か、事件か、

死んだ理由は覚えていないけど、

確かに同じ年齢だった。

可哀想だとか、

悲しいなとか、

怖いなとか、

そう思う前に、

ああ、自分も死んでいいのかと思った。

きつともっと歳を重ねれば、

まだ若いのにか、

命は尊いものだとか、

色々考えるんだろう。

でも、特に身近でもない、

誰かもわからない人の死を見て、

なんとなくそう感じた。

辛いことがあったわけでもないし、

死にたかったわけでもない。

本当に何となく、そう感じたんだ。